

生田緑地マネジメント会議ニュースレター

「生田緑地マネジメント会議」の内容をお知らせします。

令和元年度 第1回第2回運営会議が開催されました。

生田緑地東口ビジターセンターにて運営会議が開催されました。

第1回：令和元年6月18日(火)14:00～16:00 令和元年度の活動計画、入会団体の紹介など

第2回：令和元年9月30日(月)18:00～20:00 生田緑地マネジメント会議のパンフレットの作成などについて活発な意見交換がなされました。

第1回運営会議概要

◆承認事項

大谷(おおやと)自治会の入会の承認と、多摩区まちづくり協議会の退会の報告

令和元年度の会員活動計画の承認

◆協議事項

平成30年度の活動の振り返りと、令和元年度の取り組みについて

◆報告事項

自然環境保全管理会議からの報告

整備事務所からの報告

春のばら苑開催報告

運営会議等の年間会議スケジュール

第2回運営会議概要

◆承認事項

NPO法人ままとんきつづの入会の承認
駅からハイキングの協力の承認

◆協議事項

生田緑地マネジメント会議のパンフレットについて

◆報告事項

自然環境保全管理会議からの報告

整備事務所からの報告

プロジェクト会議からの報告

秋のばら苑開催報告

生田緑地ホームページリニューアルの報告

年度初めの運営会議ですので、運営員の自己紹介と、事務局の交代挨拶からスタートしました。

協議事項

昨年度から引き続き、おもてなしプロジェクト「入口の名称」は継続され、看板など掲示物の作成も行っていく。整備事務所所長より、生田緑地から持ち出さないのは大原則ではあるが不要な木材の処分について、薪としての活用も考えても良いのではないかと。ご意見をお聞きたい。磯谷自然会議会長より、木材利用は、「持ち出さない・持ち込まない」が厳格に機能しているが、出来ないことはないと思う。例外事項とするならば慎重な取り扱いが必要。話し合いが必要。行政・指定管理者が処分する物に限定して、自然会議を含めて話をする事となりました。

「NPO法人ままとんきつづ」さんの紹介

子育てに支援を必要とする親子、また関係者に対して、さまざまな支援活動事業を行い、地域社会ひいては全ての人々が、男女・年齢・立場を問わず、子どもの未来に希望を抱き、子育てが自然にできるような関係づくりに寄与することを目的として、次の特定非営利活動に係る事業を行います。(http://mamaton.jpより引用)

協議事項

パンフレットの作成にあたり、原案の説明が副会長より。生田緑地マネジメント会議自身が「会議」と思われている方がいらっしゃるので、注釈や目的を記載し多様な団体が管理運営に参加できるシステムであることを掲載し、市民活動団体の詳細はQRコードで紹介するなどの説明がありました。

報告事項

秋のばら苑の開催の報告が川崎市建設緑政局みどりの企画管理課よりありました。向ヶ丘遊園駅南口での現地案内の協力依頼が生田緑地共同事業体の統括責任者よりありました。

また、登戸駅周辺の3館及び藤子・F・不二雄ミュージアム、フロンタールのフラッグについて至急の交換をすべきとの意見もあり、共同事業体・整備事務所ともに現在進行中ではあるが早急な対応をすと返答。

(なお、本件は10月末に全交換が済み・共同事業体より)

2019年6月18日の会議



～生田緑地ビジョン基本理念(生田緑地のめざす将来像)～
豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき
緑がつける持続可能な生田緑地の実現